

# 東京湾海況情報 18-04

## 東京湾水質調査結果（平成18年7月分）

平成18年7月14日  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
 E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp)

### 東京湾水質調査結果(平成18年7月分)

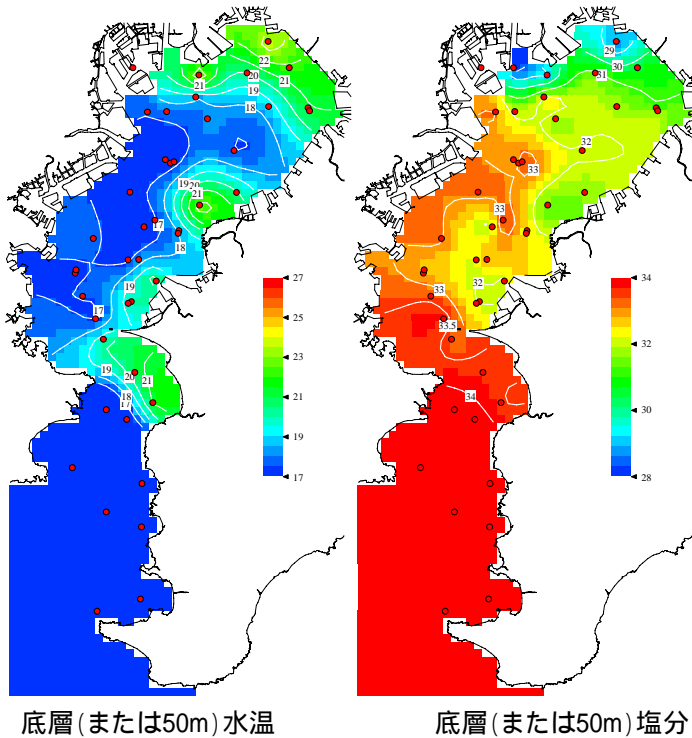
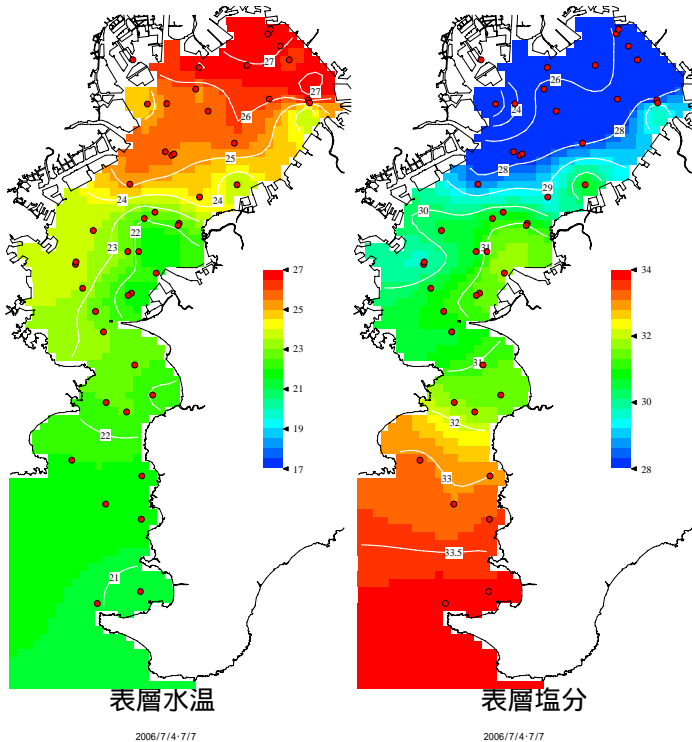


図1 東京湾の水温・塩分分布

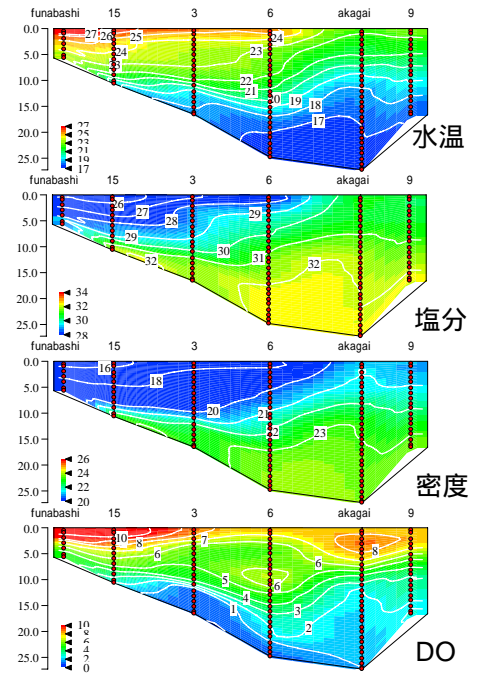


図2 内湾の鉛直分布

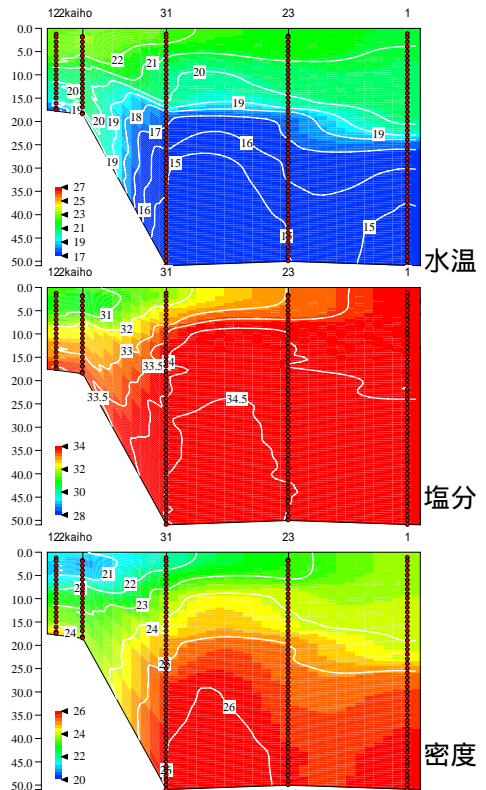


図3 内房海域の鉛直分布

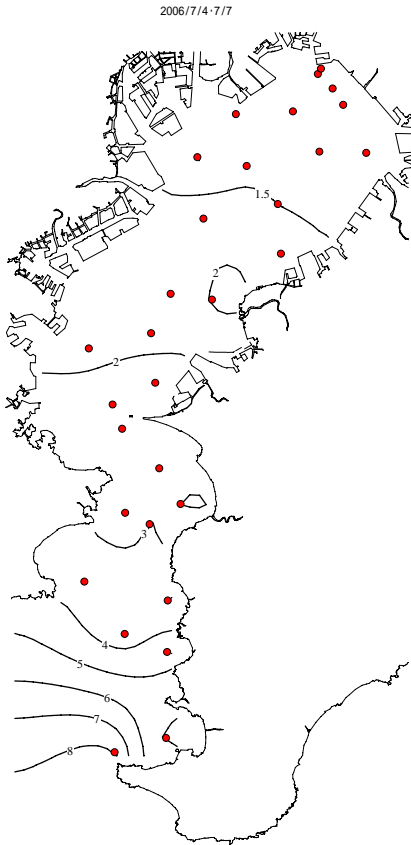


図4 透明度の分布 (単位: m)

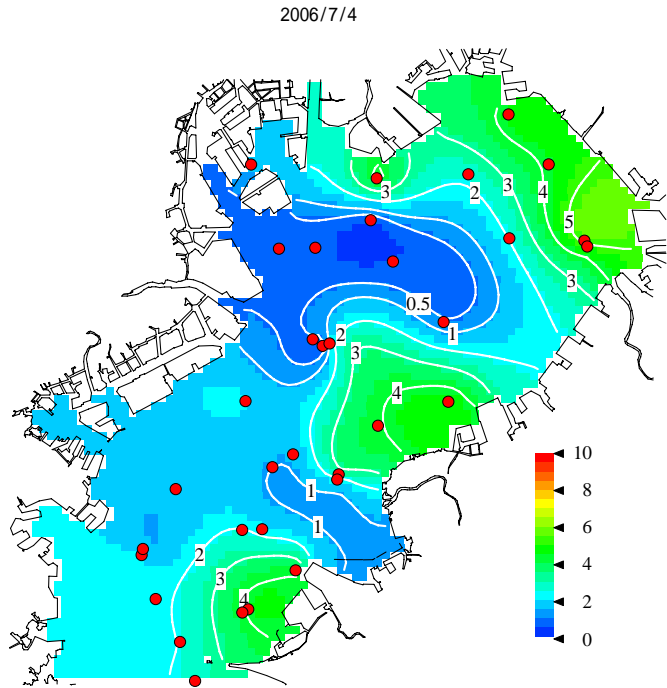
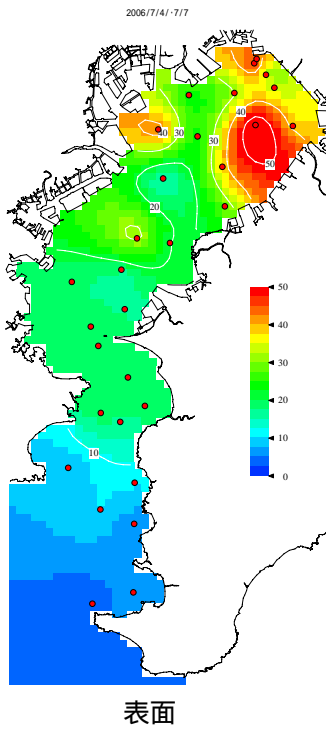
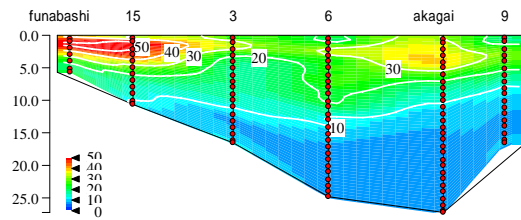


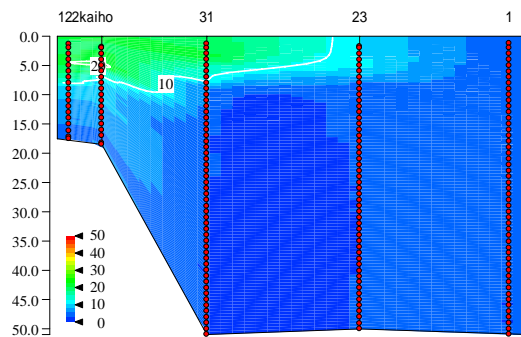
図5 底層のDO分布 (内湾海域)  
単位: m/L



表面



鉛直分布 (内湾海域)



鉛直分布 (内房海域)

図6 クロロフィル a (センサー値) の分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )

**水温・塩分(図1～3、表1)**

表面の水温は、内湾海域21～28（内湾北部は平年より1～2 高め、内湾南部は平年より1.5～2 低め）、内房海域20～23（平年より0.5～2 低め）でした。表面の塩分は、内湾海域22～32、内房海域30～34でした。

南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾海域は水温16～28，塩分25～33でした。成層が強まり表面と底層の水温差が大きくなってきました。内房海域は水温14～23，塩分30～35でした。

**赤潮の状況(図4、図6、表1)**

赤潮が広い範囲に発生していました。主な出現プランクトンは、渦鞭毛藻のプロロケントルム (*Prorocentrum triestinum*) でした。

赤潮の目安となる透明度は、内湾海域1～2m、内房海域2～5mでした。また、表面のクロロフィルa (センサー値) は内湾海域10～50 µg/l、内房海域20 µg/l以下でした。

千葉県赤潮の目安(内湾海域)は

「海色：オリーブ色～褐色、溶存酸素の飽和度：150%以上、透明度：1.5m以下、pH：8.5以上、クロロフィルa量：50 µg/l以上」としています。

**貧酸素水塊の状況(図2、5、表1)**

内湾の底層では、広い範囲に貧酸素水塊が分布していました。船橋から千葉にかけての底層では比較的溶存酸素量が高くなっていましたが、これは7月2日～3日に吹き続けた南寄りの風で表層水が底層に沈み込んだために一時的に酸素量が回復したものです。

水産総合研究センターでは溶存酸素量2.5m/l (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水として扱っています。

**黒潮の動き(図7)**

7月4日の一都三県漁況速報では、黒潮は遠州灘沖を東進し御蔵島の南を北東に流れていました。大島から相模湾へ暖水の波及が見られますが、東京湾への暖水の顕著な影響は無いものと思われます。

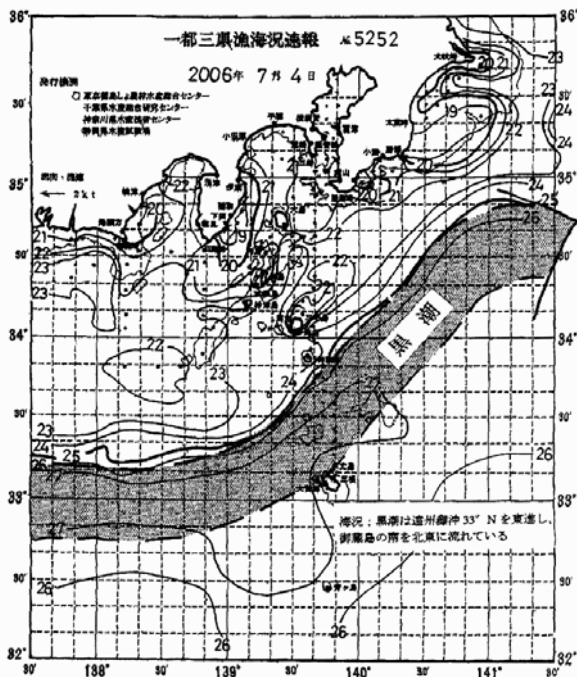


図7 黒潮の動き

表1 主な調査点の水質調査結果(表面)

		調査年月日：平成18年7月4日、7日							
調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機態窒素 (µg/l)	リン酸態リン (µg/l)	アンモニア態窒素 (µg/l)	クロロフィルa量 (µg/l)
内房海域	船橋	1.1 (1.3)	27.9 (25.3)	26.09 (27.19)	9.0 (8.6)	4.4 (2.6)			44
	st.15	1.3 (1.4)	26.8 (25.4)	25.34 (27.13)	9.1 (8.7)	2.2 (1.4)			30
	st.3	1.4 (1.5)	25.6 (25.1)	26.73 (27.48)	9.0 (8.7)	0.1 (0.7)			23
	st.6	1.8 (1.6)	25.8 (24.6)	27.24 (27.03)	8.9 (8.7)	0.3 (1.8)			14
	st.9	1.8 (2.4)	22.5 (23.9)	30.52 (30.30)	8.7 (8.6)	2.1 (3.0)			16
	盤洲Cブイ	1.9 (1.9)	23.2 (24.6)	30.69 (29.57)	8.6 (8.5)	4.4 (2.5)			28
	st.8 (盤洲Aブイ)	2.0 (1.9)	22.3 (24.0)	31.15 (30.52)	8.6 (8.6)	2.8 (2.4)			21
	富津ベタ	2.4 (2.4)	21.5 (23.2)	31.27 (31.31)	8.6 (8.5)	4.3 (3.4)			16
	第2海ほ下	2.5 (4.1)	22.9 (22.6)	30.48 (31.40)	8.3 (8.4)				18
	st.31	2.5 (5.0)	22.2 (22.4)	31.60 (31.65)	8.2 (8.4)				17
内湾海域	st.23	3.5 (8.7)	21.6 (22.3)	33.07 (33.05)	8.0 (8.2)				8
	st.1	8.0 (11.3)	21.0 (22.4)	33.86 (33.64)	7.9 (8.2)				1
	st.10 (下洲沖)	2.5 (4.2)	22.4 (22.3)	31.09 (31.66)	8.2 (8.3)				
	st.12 (湊沖)	2.0 (3.9)	22.0 (22.7)	31.42 (31.55)	8.2 (8.4)				
	st.22 (保田沖)	3.0 (7.0)	21.5 (22.7)	33.01 (32.96)	8.0 (8.3)				
	st.24 (富浦沖)	5.0 (8.8)	21.3 (23.1)	33.42 (33.27)	8.0 (8.3)				
	st.26 (龍山湾内)	5.0 (9.9)	20.7 (22.7)	33.71 (33.68)	7.9 (8.3)				
	分析機器不調のためデータなし								

クロロフィルa量はセンサー値、透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

資料：東京湾水質調査(7/4, 内湾：わかふさ, 7/7, 内房：ふさみ丸) 内湾底びき網研究会連合会、東京都環境局 海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト) 一都三県漁況速報、東京湾口海況図